

トクサンコーカン

天理参考館
公開講演会

第 270 回

中国古代の青銅祭器 — 殷周青銅器の魅力 —

6 月 22 日 (土)

講師：青木 智史 (学芸員)

殷周青銅器は古代中国を代表する文物です。殷の人々は祖霊・鬼神を恐れ、青銅祭器（彝器）を用いて彼らを篤く祀り楽しませようとしていました。周代になると鬼神への恐れは次第に失われ、礼楽制度によって社会秩序を維持するための道具（礼器）として重要な役割を担いました。時の流れとともに青銅器は多種多様な役割を担ったのです。天理参考館の殷周青銅祭器を中心にその魅力について紹介します。

第 271 回

祈りの考古学

《第 84 回企画展 関連イベント》

— 古代の玉作りと滑石製模造品のまつり —

7 月 20 日 (土)

講師：日野 宏 (学芸員)

今回は古墳時代中期の祭祀場から出土する同種多量の滑石製模造品について考えます。滑石製模造品のまつりは全国的にみられることから、ヤマト王権による祭式の統一が図られたものとみられますが、ここでは王権直営と考えられる全国最大規模の玉作り遺跡、奈良県橿原市の曾我遺跡との関係についても触れたいと思います。

第 272 回

貝貨と石貨

— アジア・オセアニア地域の物品貨幣 —

9 月 28 日 (土)

講師：早坂 文吉 (学芸員)

昨今の日本ではキャッシュレス決済が進んでいますが、世界の貨幣の歴史を振り返ると、紙幣や硬貨に加え、古くは物品貨幣といわれるモノが貨幣として使用されてきました。また、現在でも儀式やお礼の場など、人に対する支払いで貝貨が使用されている地域があります。今回は台湾やオセアニア地域の貝と石のお金に注目して、貨幣の歴史の一端を解説します。

◆会場：当館研修室 ◆時間：13 時 30 分～ (受付は 30 分前より)

◆定員：100 名 (申込み不要 / 当日先着順)

◆受講料：入館料のみで受講できます (友の会会員 300 円, 一般 400 円)

※講演会当日は開催中の企画展および常設展もご覧いただけます。

天理参考館
寄付のご案内

天理参考館では皆様からの寄付をお願いしております。詳細は下記のサイトをご覧ください。
<https://www.sankokan.jp/etc/kihu.html>

世界の生活文化と考古美術の博物館

天理大学 附属

天理参考館

TENRI UNIVERSITY SANKOKAN MUSEUM
〒 632-8540 奈良県天理市守目堂町 250 番地
TEL 0743-63-8414 FAX 0743-63-7721
URL <http://www.sankokan.jp/>